

# まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生推進交付金事業検証シート

事業名	KIX泉州ツーリズムビューロー事業 【当初:(仮称)泉州観光DMO推進事業】	担当課名	政策推進課
交付金の種類	地方創生推進交付金		

まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ	NO	基本目標	
	2	地域資源を活用した取組となんでも近い泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することにより、様々な交流を生み出す。	
	NO	施策と取組内容	NO 施策と取組内容
	1	泉大津らしさを活かした交流を促す	

## 【基本目標の数値目標】

指標	現状値	目標値	H30年度実績値
市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合	H29:29.2%	R6:40.0%	H30:32.6%

## 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	地域資源を本市単独で活用するのではなく、泉州地域の市町が連携し、一丸となって戦略の策定・推進や事業に取り組むことで、泉州地域への訪日旅行者数の増加を図り、ひいては本市への誘客につなげる。
(事業概要等)	「泉州」の認知度向上とさらなる誘客を図るため、一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューローへ負担金を支出するとともに、連携調整会議へ出席し、より良い事業展開をめざし、積極的に意見や提案、要望などを行う。

## 【事業費】

項目	R2決算額	R2地方創生交付金額	R3予算額	R3地方創生交付金額
金額(単位:千円)	5,548	2,774	5,360	
令和2年度事業費内訳(単位:千円)	費目			金額
	負担金、補助及び交付金			5,548

## 【事業の重要業績評価指標(KPI)】

重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値	R2年度実績値
各イベントの集客数(対象が市民限定のイベントを除く)	H30:66,500人	R6:66,500人	R2:7,101人

## (成果の概要)

<p>単体では観光資源に乏しい泉州地域の各市町が、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローに参画し、広域で連携し、一つになり、方向性をあわせることで観光施策を実施してきている。今般、認定要件の一つである地域の多様な関係者の意見集約ができる「泉州観光地域づくり連携協議会」設立といった体制が整ったこともあり、候補DMOから令和2年度末に観光庁より登録DMO(観光地域づくり法人(旧日本版DMO法人))として正式登録の承認を得た。</p> <p>DMO本登録ができたことに伴い、観光庁の直接的な助言や補助金メニューの活用といった支援を受けることもできるようになることから、今まで以上に観光による地域づくりを行いやすい環境は整った。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外国人観光客の激減や中止等を余儀なくされた事業もあるが、オンラインによる泉州地域のプロモーション活動や情報発信、観光地としての環境整備事業を展開し、アフターコロナを見据えた泉大津市ならではの体験型観光ルートの開拓を実施した。</p>
--

## 【今後の方向性】

課題(問題点)及び今後の方向性	<p>豊富な観光資源がない泉州の各市町にとって、単独ではなく泉州地域一丸で誘客に取り組むという方向性は変わらないが、登録DMOとなったKIX泉州ツーリズムビューローとともに、地域の民間企業や地域住民協力のもと、泉州地域ならではの特色をいかした着地型観光のルート開発を一つでも多く提供できるように地域資源の創出に取り組んでいく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の行く先が不透明な中ではあるが、観光資源の創出に加え、オンラインを活用したPR等歩みを止めずにアフターコロナを見据えた取組を推進していく。</p>
-----------------	---